

田牛観光協会体験学習協議会主催の

臨海学校に参加しました

田牛観光協会体験学習協議会が主催する臨海学校の一環として、5月19日に“海の生物に関する講話”があり、分場職員が講師として招かれました。下田市田牛地区に訪れている沼津市立第五中学校2年生150人の前で、伊豆半島の岩礁域に生息する様々な生物や当地で盛んな沿岸漁業について、写真を示しながらお話をする機会をいただきました。

具体的には、潮間帯に生息する節足動物、軟体動物、棘皮動物、腔腸動物、海藻類などの生態と、イセエビを対象とした刺網漁業とアワビを対象とした潜水漁業について説明をしました。

その後、地元“二丁の間の磯”に下りて磯採集が行われました。

最近では様々なメディアにより海中生物の写真・映像が見られるようになりましたが、実際に磯に入って採集した生物を手に取り、その特徴を観察する機会は、臨海学校ならではの体験です。

それ以外にも、当協議会の臨海学校の企画に基づいて、海岸沿いの遊歩や貝殻による工作など、田牛ならではの様々な行事が行われたとのことですので、生徒たちにとっては楽しい思い出になったことでしょう。(川合範明)

